

回想

名古屋鉄道株式会社
東岡崎幹事駅長

富田 忍 氏



教育随想

私が東岡崎駅長として赴任したのは、桜の花咲く四月でした。岡崎五万石、葵のご紋の徳川さま、武士の名残か、ロマンと安らぎを感じさせる町のたたずまいなど、今でも心のときめきを思い出しています。あれから二年、職業柄か、常に、電車のお客様の動向に一喜一憂しています。が、残念ながら平成八年と比べ、約八〇%まで落込んでいます。

当初は、不景気のため、また、少子高齢化という構造的な問題であるうと思っていました。岡崎市の人口は年々微増しているにもかかわらず、市勢圏が北から南へ移りつつあること、また、岡崎へのお客様の訪れが減ってきているためではないでしょうか。肌で感じる駅前の活気は、やはり淋しさを増しています。

私は、暇ある毎に町の活力やたた



平成15年3月1日

3月号

発行・編集
岡崎市教育委員会

今月の紙面

教育随想	1
東岡崎幹事駅長	
富田 忍氏	
この人に聞く	2
小久井有機栽培試験農場	
小久井正秋氏	
羅針盤	2
学校図書館指導員	
渥美久美子	
ふれあい	3
大門小	
安藤 靖子	
クアラルンプール日本人学校	
和田真実子	
1年のあゆみ	4
平成14年度研究発表校	6
平成14年度教育論文入賞者	7
お知らせ	8
フォト・ヒストリー	10
学校図書館教育(昭和30年)	
この本を	10

ずまい、史跡を訪ねました。その中で、かつては市の中心街として華やかだった康生通りの衰退は、これが時代の変遷なのか、哀れな気持ちになったものです。一方、城とそれを取巻く公園での風物詩は、私の心を和ませてくれました。春は、見事に花をつける二〇〇〇本近いソメイヨシノやフジ・ツツジ。夏には、川面に映えて浮かぶ銚船と夜空を焦がす豪華絢爛な花火大会。四季を通じて、ウォーキングを楽しむ人々、また、殿橋から見渡す風景も絶品でした。西日を受けて輝く岡崎城、見回すと、川が流れ、緑の自然に囲まれ、背後には近代的なビルが建ち並ぶ、歴史と自然の一体感は、岡崎らしさを最も感じさせる場所であり、大きな財産ではないでしょうか。

「夜明け前が最も暗い」。私は最近

好んでこの言葉を使っています。戦国の世に逆境を克服し、ついに天下を取った家康公の生涯に思いをはせる時、今が一番苦しいけれども、精一杯頑張りたいものです。

(とみだしのぶ)





無農薬有機栽培に挑む

小久井農場有機栽培試験農場
岡崎市東部土地改良区理事

小久井正秋 氏

「買った人がおいしいと言って食べてくれることがいちばんの幸せです。」と笑顔で語る小久井さん。

約一七〇ヘクタールの広大な田畑と施設が目をつけた。その施設には大型トラクターと大型コンバインが各十台。リモコンヘリコプター、大型精米器、育苗施設、低温倉庫、有機栽培肥料場などがある。ここで小久井さんは、無農薬有機栽培で米・麦・大豆を生産されている。

この仕事を始めたきっかけについて

て、次のように振り返られた。

「以前は、畜産を主にやっており、たい肥を田畑に入れることで、おいしく健康的な米がとれることに気がいたんです。それで、『本物を作りたい』という気持ちで、十四年前から現在のように本格的に有機肥料だけを用いて始めました。時代の流れでしょうか。その後、多くの人に要求されて自然と耕地を広げ、今では、田畑だけに絞ってやっています。」

米作りについて話が及ぶと、

「米作りは土作り。土が命です。自分は十年かかりました。毎年、三十か所の条件を変えた土で稲を育て、試行錯誤を繰り返す。自分の経験以外に、本、雑誌、研究資料などをもとにして、自分でやってみました。そうすると、大切なところが見えてきます。とにかく、人間が人間らしく



く食べられる米作りを極めたい。」と熱く語ってくださった。

さらに、将来については、次のように話された。

「現在、北は北海道から南は沖縄まで直接お客さんから予約を受けています。この米がおいしいと言って買いに来てくださる人も多いです。年間三〇〇トンの米を生産していますが、質を落とすまで、量を増やしていこうとは思っていません。家族八人でできることをやるまでです。今後安心して食べられるうまい米を作っていきたいです。」

小久井さんは、四校の小学校で本物の米作りを見せている。子供との接触を通して、最後にこう言われた。「自然と触れ合うことで、人間らしい感性を持ち、本物を作ることができると。自然の中から道具を工夫したり、友達と野イチゴやグミを採ったり、魚をつかんたりする。その体験の中から知恵としての確かな手応えを感じる子に育ってほしい。」

作物はうそをつかないという信念を持ち、小久井さんの本物を作るための努力は、今日も続いている。

氏名 小久井 まさあき
 生年月日 昭和二十二年十一月三日
 住所 岡町森東四十一



子供の学びを支える

学校図書館指導員

渥美 久美子

子供たちの主体的な学びを支えることが、学校図書館の役割の一つであるが、時には追究に必要な図書資料が自校だけではそろわないことがある。訪問の際にも、時々同様の声を耳にする。そんなとき、その点を見事に克服されたA先生の授業を思い出す。

B中学校を訪問したときのことである。一年生のある学級では、『チャレンジ2001』のエキスパートになろう」というテーマで総合的な学習の時間が進められていた。本時は学校図書館資料の中から、個々の追究に必要な資料を収集させた後、資料リストを作成させるという学習の流れであった。

子供たちは図書資料を中心にファイル資料などにも手を伸ばし、資料探しに懸命であった。しかし、「化

笑顔のまま

大門小 安藤 靖子



教室を見わたすと、いつもこちらを見ているかわいいう瞳に出会う。ここにこと笑顔絶やさないA男だ。

A男と出会ったのは二年前、入学式の日だった。新しい環境が苦手なA男は廊下で泣いていた。

「だいじょうぶだよ。みんな優しいからね。」

と手をつないで教室に入った春の日。あれから二年。今では、放課に友達と過ごすのが大好きなA男だが、時々わたしのところへやって来る。

「次は何をやるの。」

不安な気持ちで尋ねるこの言葉が、A男が私のそばに来る合図になっていた。特に話をするわけではない。わたしとほかの子の話を聞いていることも多い。しかし、わたしのそばにいて心で心が安らかくなって

るようで、ぴったり寄り添って一緒に話を聞いている。その周りを囲むほかの子供たちも、ここにこしながら温かい目で見守ってくれる。A男の笑顔がみんなを笑顔にしてくれる。もうすぐ三年生。A男がわたしから巣立つ日も近い。今、わたしはA男たちと一緒に学校の中を探検している。これから広がる世界にA男が安心して進んでいけるように、いつも笑顔でいられるようにと願いながら。



差し出された手

クアラルンプール日本人学校

和田真実子

現地校の子に、日本での遊びを出店風に紹介する交流会でのこと。

「先生、アズリンさんがいない。」

A男が心配そうな顔で訴えてきた。彼は現地校のアズリンと組んでいる。いろいろな店を回る世話係であった。

「とにかく捜そう。」

A男と一緒にあちこち駆け回った。彼は、自分の気持ちを表現するこ

とが苦手である。そのため、友達とトラブルになったり、投げやりな態度をとったりすることもしばしばであった。

しかし、アズリンを捜す彼は違っていた。

「どこへ行っちゃったのかな。」

「先生も見つかるまで一緒に探そうよ。」

A男は大きくうなずいた。そんな彼の姿が意外であり、頼もしくもあった。

やっこのことでアズリンを見つけ

た。A男はすぐに駆け寄り、彼女に手を差し出した。アズリンもうれしそうにA男の手をとった。

「スラマパギ。(おはよう)」

「アパカバー。(元気ですか)」

次の交流会のために、マレー語を勉強する声の中に、いつもより元気なA男の声があった。



石・黒曜石の発見と発掘」をテーマにしたC君や「万年青」について追究しているD子さんは、満足のいく資料に出会うことができなかった。そのとき、A先生は落胆しているC君に、「先生も資料を探してみただけ見つからなかったから、これをどうぞ」と言いながら、黒曜石の实物を渡された。D子さんには、県の図書館で入手してきた資料を示された。

A先生は、自校の図書館資料だけで、子供たちの追究が可能かどうかあらかじめ細かく検討され、そのうえで、不足している資料については自ら市や県の公共図書館にアクセスしたり、市外の書店にまで足を運んだりして、資料集めに奔走されていたのだ。教師の温かく適切な支援により、子供たちの追究意欲が、それまで以上に高まったことは言うまでもない。

十二学級以上の学校に司書教諭が置かれるのも、間もなくである。司書教諭はもろろんのこと、すべての教師がA先生のように、子供たち一人一人の特性や興味関心に応じたレファレンスサービスを行えることが要求されてくる。そのためには教師自身が図書館活用力を身に付けることが重要になってくるであろう。

一年のあゆみ



▶全国中学生カヌー大会で力強く操船する新香山中カヌー部



▶全日本小学校バンドフェスティバルで優秀賞を受賞した竜美丘小

4・1	文部科学省、学校完全週5日制を軸とした、新学習指導要領の完全実施 新規採用教員48名辞令伝達式	8・2	感性を育む心の教育の推進 芸術鑑賞会（市民会館）
4・14	浪速武道館小中学生近畿相撲大会 個人第3位 南中3・平田怜	8・4	第22回全国中学生アーチェリー大会 優勝 東海中3・山本枝里子、2・青山絵美子
4・15	現職教育委員会総会（矢作中）	8・7	第32回愛知県野生生物保護実績発表会 県知事賞 東海中生物部
5・11	第46回岡崎中学校総合体育大会 第14回管楽器個人重奏コンテスト東海大会 アルトサクソスの部 優秀賞 南中3・鈴木健吾	8・8	第24回東海中学校総合体育大会（12） 陸上男子 走高跳 準優勝 矢北中3・井上諒 2年150M 第3位 矢作中2・鈴木慶輝 女子 100M H 優勝 矢作中3・岩脇真奈美
5・12	日本中学生アーチェリー大会 優勝 東海中3・鈴木徳由毅、3・萩原宏実、3・神谷理恵子	8・8	水泳男子 100M背泳ぎ 優勝 城北中3・西尾太郎 100M平泳ぎ 準優勝 矢作中3・澤田将宏 100M背泳ぎ 準優勝 東海中3・天野敏也 400Mメドレーリレー 優勝 電海中 坂野・天野・伊藤・荒井・柵木・高木 400Mリレー 優勝 電海中 坂野・天野・伊藤・荒井・柳・早川
6・16	六北中創立10周年記念式典	8・9	女子 100Mバタフライ 優勝 城北中1・岩下なつみ 400M個人メドレー 第3位 甲山中3・近藤美咲
6・20	FBC春学校花壇設計図コンクール 愛知県知事賞 六中小	8・9	相撲 団体の部 第3位 美川中 個人の部 優勝 美川中3・青山智昭
6・30	第16回わんぱく相撲愛知県大会 小学4年生の部 優勝 三島小 太田航大	8・16	吹奏楽コンクール県大会 A編成の部 金賞 電海中 B編成の部 金賞 六ツ美中・新香山中
7・2	パソコン教室整備40台配置10校 広幡・山中・本宿・秦梨・常磐東・常磐・奥殿・岩津・矢北・六中の各小学校	8・25	全国中学校体育大会（25） 陸上女子 100M H 準優勝 矢作中3・岩脇真奈美
7・6	第19回愛知県小学生リレー競走大会 男子走幅跳 優勝 大樹寺小6・鈴木雄貴	8・28	第5回東海吹奏楽コンクール B編成 金賞 六ツ美中・新香山中 第5回東海少年相撲大会 団体 準優勝 三島小 個人 小学4年生の部 第3位 三島小 太田航大
7・7	第23回愛知県混成競技大会 三種競技B 優勝 矢作中3・岩脇真奈美	8・30	岡崎市統計クラブコンクール表彰式（福祉会館） 岡崎市教職員体育大会（中央総合公園） 教育研究大会（福岡小・福岡中）
7・8	ニューポートビーチ市中学生使節団来岡（13）	9・12	第23回愛知県ジュニアオリンピック陸上競技大会 女子 150M 優勝 六ツ美中2・竹中紗代
7・9	第17回中学生の主張コンクール（せきいホール）	9・16	女子 優勝 六ツ美中2・竹中紗代
7・13	第5回県中学選抜混成大会 三種競技B 優勝 矢作中3・岩脇真奈美	9・22	男子 優勝 新香山中2・太田俊政 女子 優勝 新香山中2・藤嶋紗姫 優勝 新香山中 藤嶋・坂田
7・19	第55回岡崎中学校市長杯総合体育大会（21） 愛知県カヌー中学生大会 総合優勝 新香山中	9・23	岡崎市中生呼と浩特市友好親善訪問（10・1） 第41回岡崎小学校陸上大会（県岡崎総合運動場） 第55回全日本合唱コンクール中部支部大会 銀賞 南中
7・21	岡崎小学校球技大会（25）	9・29	岡崎市中生ニューポートビーチ市親善訪問（10・9） 第46回愛知県統計クラブコンクール 金賞 羽根・矢東・六南・山中・竜美丘・連尺の各小学校と新香山・竜海・城北中学校
7・22	全日本中学校通信陸上競技大会（県） 男子走高跳 優勝 矢北中3・井上諒	9・30	
7・24	市教科・領域基礎研修会（26・8・1、2、6）		
7・25	西三河中学校選手権大会（28）		
7・28	全国中学生カヌー大会 男子 準優勝 新香山中3・水越健次 女子 第3位 新香山中 藤嶋・長島・磯谷・鈴木		
7・29	第24回東海ブロック小学生バレーボール大会 優勝 上地小 中央教育審議会、奉仕活動の推進を促す「青少年の奉仕活動・体験活動の推進方策等について」答申を文部科学大臣に提出		
	第40回岡崎小学校水泳大会（井田小・三島小）		
	第56回愛知県中学校総合体育大会（8・3） 陸上男子 走高跳 優勝 矢北中3・井上諒 女子 100M H 優勝 矢作中3・岩脇真奈美		
	水泳女子 100M自由形 優勝 矢北中 杉田・森田・鈴木・濱井 4×100Mリレー 優勝 矢北中 杉田・森田・鈴木・濱井 100Mバタフライ 優勝 城北中1・岩下なつみ		
	バレーボール男子 優勝 矢北中 相撲 団体の部 優勝 美川中 個人の部 優勝 美川中3・青山智昭		
	第45回中部日本吹奏楽コンクール愛知県大会 大編成の部 優秀賞 竜海中 小編成の部 優秀賞 新香山中		
	呼と浩特市中学生使節団来岡（15） 第48回全日本中学校通信陸上競技大会 女子共通100M H 優勝 矢作中3・岩脇真奈美		

▶新築された常磐中の校舎



▶呼と浩特市を訪れた本市友好親善使節団



11・24	11・23	11・17	11・16	11・9	11・6	11・4	11・3	11・2	10・30	10・29	10・26	10・25	10・22	10・20	10・15	10・14	10・13	10・12	10・7	10・5	10・1
第51回愛知県中学校駅伝大会 女子の部 優勝 六ツ美中	第30回岡崎のハーモニ(市民会館) 第21回全日本小学校バンドフェスティバル 優秀賞 竜美丘小	第17回We・Love・トンボ絵画コンクール 銅賞 六南小5・喜多咲姫	第21回愛知県中学生バレーボール新人大会 男子の部 優勝 六ツ美中 女子の部 優勝 矢北中	学校保健大会(公衆衛生センター) CBC子ども音楽コンクール中部決勝大会 弦楽合奏部門 最優秀賞 城北中 管楽合奏部門 優秀賞 岩津中 合唱の部 優秀賞 矢北中・南中	「税についての作文」全国納税貯蓄組合連合会 優秀賞 河合中3・市川太一	第16回愛知県陸上競技選手権大会 男子 二種競技B 優勝 大樹寺小6・鈴木雄貴 女子 二種競技B 優勝 大樹寺小6・岡松沙希	愛知県危険物安全協会連合会長賞 北野小6・伊藤妃沙	第39回造形おどろきつ子展(27・おどろき世界子ども美術博物館広場) 東海地区学生書写道展 愛知県知事賞 矢西小6・牧優理乃	第29回岡崎市小中学校作文コンクール表彰式(福祉会館) 愛知県防火作品展 小学校6年ポスターの部	第44回岡崎市中学生英語スピーチフェスティバル(甲山会館)	第28回「私のアイデア貯金箱」コンクール 郵政事業庁長官賞 大樹寺小4・平山裕恵、六中小6・田中淳之介 文部科学省、5日制対応事業の実施状況と子供の参加状況をまとめた「完全学校週5日制の実施に伴う事業の実施、子供たちの参加状況に関する調査」の結果を発表	第33回ジュニアオリンピック陸上競技大会(27) 女子B 100M 第3位 矢作中3・岩脇真奈美	第28回「私のアイデア貯金箱」コンクール 新香山中1・前川浩隆、城北中1・稲嶋真紀・細井万愛	第50回統計グラフ全国コンクール 特選 竜海中2・山下恵理奈 入選 矢東小3・吉田英里佳、5・太田瑞希 羽根小5・井上リサ・後藤沙織・山中さゆ紀 竜美丘小6・植田美咲、6・鬼頭沙友子 竜海中1・見並克俊、竜海中2・荒井浩介	中部日本吹奏楽コンクール本大会 中学校小編成の部 優勝 岩津中	第12回朝日「はくとわたしの健康」作文コンクール 特選 ノバルティスフアーマ賞 北野小6・石川愛理	第49回岡崎市民体育祭(中央総合公園) 中部吹奏楽コンクール本大会 大編成 銀賞 竜海中	第49回理科作品展(中央総合公園武道場) 第29回技術・家庭科作品展(中央総合公園武道場)	第34回岡崎市中学校新人総合体育大会(12・水泳9・7) 市中学生使節団タウンガ市訪問(17)	校内LAN整備10校 大門・六北・上地・六西の各小学校	10・1

▶東海ブロック小学生バレーボール大会で優勝した上地小チーム



▶全国子ども科学映像祭で文部科学大臣賞を受賞した東海中生物部



3・25	3・20	3・1	2・28	2・25	2・15	2・14	2・9	2・1	1・19	1・18	1・15	1・10	12・24	12・21	12・19	12・14	12・7	11・29
愛宕小プール完工、竜海中屋内運動場完工	六名小屋内運動場完工	北野・六西の各小学校	常磐中プール、屋内運動場完工	視聴覚教育賞授賞式(情報ネットワークセンター)	六中小創立100周年記念式典	第38回読書感想文・感想画コンクール表彰式(福祉会館)	上地小開校20周年記念式典	中学生のためのクラシックコンサート(市民会館)	第1回全国子ども科学映像祭 文部科学大臣賞 東海中生物部 優秀賞 愛宕小	第46回岡崎市民駅伝競走大会	第36回全国中学校文芸作品・歌曲創作コンクール 詩歌の部 第2位 河合中3・鳥貴子	第29回冬季研修会(25・甲山会館)	第21回海とさかな作品コンクール 部門賞(研究の部)特選 連尺小2年1組10名	国際ボランティア作文コンクール 文部科学大臣奨励賞 広幡小3・伊藤舞	団体活動報告部門 優秀賞 緑丘小6年	地球にやさしい作文・活動報告コンテスト	叙勲・表彰者合同祝賀会(竜美丘会館)	FBC秋学校花壇設計図コンクール 県知事賞 根石小 常磐中学校舎完工

平成14年度研究発表校

月日	校名	分野	研究主題	研究概要	研究資料
6月7日	矢南小	教科指導	子どもの目が輝く授業の創造 —あたたかな学習集団を基盤とする「かかわり合い」を通して—	確かな学習活動の充実を図るため、問題解決的学習と子供相互の人間関係づくりに焦点をあて、自主研究を進めた。話し合い活動を中心とする「かかわり合い」を授業にどう位置づけるか。基盤となる、あたたかな雰囲気にあふれる学習集団をいかに育てるか。その具体的な教師の指導方法をさぐった。	研究物 研究紀要 学習指導案 講師 茨城大学助教授 藤井 千春 先生
6月19日	井田小 愛宕小 葵中	教育全般	小中連携による基礎学力の定着をめざして —授業づくりの工夫を通して—	平成12年に岡崎市教育委員会より研究委嘱を受けた。「定着させたい基礎学力」を学習内容と学習習慣と定め、小中が系統的に連携し、9年間を見通しての日常活動と毎時間の授業のあり方について実践研究を進めてきた。	研究物 研究紀要 系統表 学習指導案 (井田小・愛宕小・葵中、各1冊)
6月25日	矢作北中	教育全般	生徒・地域・教師が輝く学校づくり —一人から学ぶことを通して21世紀をたくましく生きる生徒の育成—	長年にわたって人としての生き方を学ぶ教育活動を展開してきた。これを軸として、「当たり前前前のことが、当たり前前にできるようにしたい」をモットーに、教育実践の日常化を目指した。そして、「いつも夢を語り、その実現に向かって努力する」生徒・地域・教師のいる学校づくりを目標として実践している。	研究物 実践発表紀要 学習指導案 実践部会資料 講師 愛知教育大学教授 中野 靖彦 先生 豊田市立小清水小学校長 前田 勝洋 先生
10月1日	常磐小 常磐中	教育全般	小中連携教育 心豊かに共に高めあう常磐っ子の育成	姉妹学級の交流・児童会と生徒会との交流・行事の交流・学習の交流の4本柱を中心に、3年間の小中共同生活を通して、互いに認め合い、思いやりと信頼感に結ばれた、心豊かな子どもの育成をめざして研究実践を行った。	研究物 研究紀要(概要編) 研究紀要(実践編) 学習指導案 助言者 愛知教育大学講師 伊藤 安彦 先生
10月11日	竜南中 上地小 緑丘小	総合学習・特別活動・道徳	豊かな人間性を育む教育活動 —子供・教師・地域の3つのネットワークを核として—	平成12年度に岡崎市教育委員会より研究委嘱を受けた。3校の小中学校の児童と生徒、地域や教師同士が、連携を通して3つのネットワークを構築する中で、それらを生かした活動の場を設定することで、「豊かな人間性」の育成が図れるという研究仮説に基づき、3年間にわたり研究実践を重ねてきた。	研究物 研究紀要 学習指導案 助言者 愛知教育大学講師 伊藤 安彦 先生 社会福祉協議会 地域組織係長 畔柳 和正 様 鳴門教育大学教授 西村 公孝 先生 岡崎市教育研究所 岩月 健 先生 愛知教育大学教授 池田 勝昭 先生
10月18日	大樹寺小	教育全般	自立心を育てる教育 —理科、社会科、生活科、大樹学習A・B(総合学習)を中心に—	自立心を育てるための手立てを「直接体験を重視した教育活動の推進」「真の問題解決的な学習の推進」とし、自然、人、地域とのかかわりを大切にした体験的な教科、大樹学習、行事等の工夫を研究・実践してきた。	研究物 大会要項 研究紀要 講師 愛知教育大学助教授 野田 敦敬 先生
11月1日	矢北小	総合・教科	総合的な学びを育てる学習指導 —自ら考え、発表できる子どもをめざして—	本校では、子供たちが自ら追究する活動全般を「総合的な学び」と捉え、自ら考え、発表できる子どもをめざして、「題材設定」「独自学習」「相互学習」の在り方を中心に、研究実践を重ねてきた。	研究物 研究紀要・学習指導案 講師 愛知教育大学講師 伊藤 安彦 先生 愛知教育大学教授 川上 昭吾 先生 明治図書 樋口 雅子 先生 奈良女附小 廣岡 正昭 先生
11月5日	男川小	教科指導・生活全般	家族や地域の人々とのかかわりを通して、自立をめざす子の育成	家族や地域の人々とのかかわり体験から、人・自然・ものの持つ魅力に感動し、目的意識をもって、自ら学び、生活する子の育成をめざした。教科(生活科、社会科、家庭科)と生活全般の「男川かかわりプラン」を作成しこれを実践した。	研究物 研究紀要 かかわり実践記録「育成」 学習指導案 講師 愛知教育大学教授 西村 敬子 先生

●平成14年度の出版物

書名	出版日	著者
死を通して生を考える教育	平成15年2月	常磐中 天野幸輔共著(編者 中村博志)

平成14年度教育研究論文入賞者

●個人研究の部

最優秀賞

氏名	学校名	教科領域	研究主題
清水 範彦	六中部	理科	自ら問題を見つけ、意欲的に追究する子の育成
鈴木 孝広	竜南	保健体育	確かな学力を育む課題解決学習のあり方

<論文入賞者数>

賞	最優秀			優 秀		佳 作		合計/応募数
	個人	共同	賞	賞	賞	賞		
小学校	1	1	26	52	79/186			
中学校	1	1	16	32	49/110			
合 計	4	2	50	100	154/365			

優秀賞

岩瀬 裕美	広 幡	国 語	豊かな表現力を高めるための話す力の育成
大西 裕子	矢作東	国 語	確かで豊かな音声言語表現力を伸ばす指導と評価
堺 季和子	矢作東	国 語	考えたことや伝えたいことを的確に話すことができる子を目指して
森下 成樹	矢作南	国 語	かわり合い高め合う言語活動
中野 隆仁	緑 丘	社 会	進んで課題を追究し、考え合うことのできる子をめざして
加藤 峰子	矢作東	社 会	学ぶ喜びをわかち合い、郷土愛を育む社会科の授業
池田佳代子	矢作南	社 会	問題意識をもって進んで追究し、考えを深める子の育成
片桐 徹	北 野	社 会	問題意識を持ち、進んで調べ、かわり合いを通して学びを深める子どもの育成
加藤 嘉一	六南小	算 数	主体的な学びと豊かな量感を育てる指導をめざして
加藤 稔	竜 海	算 数	自ら学び、楽しさや充実感を味わうことのできる算数学習2
犬塚 健一	常磐南	理 科	科学好きな子を育てる理科学習
杉田ひろ子	城 南	理 科	主体的に問題解決活動を進める中で豊かな感性を育む理科学習
宮川 葉子	男 川	生 活	多くのかかわりや体験を通して自ら活動しようとする子を求めて
丹野千香子	岡 崎	生 活	自らの生活を切り拓く子の育成
鳥居 光世	恵 田	生 活	身近な人や自然に自ら進んでかわり 其の良さを見つめることができる子どもの育成
林 尚子	矢作北	生 活	活動を広げ、気づきを深める生活科の学習
尾崎めぐみ	矢作西	生 活	自然に親しみ、感動する心を育む栽培活動の取り組み
梅田 康子	福 岡	図 工	創造の喜びを体感できる学校環境デザイン
太田 悦子	藤 川	保健体育	人とかかわりの中で、自分を認め、自分を伸ばそうと努力できる子の育成
山口 博正	福 岡	特殊教育	話す意欲を高め、自分の思いを伝えることのできる児童の育成
中嶋 友子	愛 宕	図書館	図書資料を活用した学習指導
内田 一未	広 幡	学校保健	命の大切さを知り、自分の存在を実感できる子の育成
佐久間裕子	三 島	総 合	自ら学び、進んで考えを伝える子の育成
倉地 耕治	連 尺	総 合	豊かな人間性を育む総合単元の構想
小川真奈美	大樹寺	総 合	主体的な学びを通して自立心を育てる 総合的な学習の時間をめざして
柴田 泰枝	六西部	総 合	地域に親しみ心豊かな子の育成
尾崎 和美	竜 海	国 語	話し方・聞き方を学ぼう
河合由起子	城 北	国 語	伝え合う力
日置 彰久	葵	国 語	漢文に親しみ読み味わう生徒の育成
磯田 正敏	南	社 会	多面的に追究し考えを深める生徒の育成
早川 哲也	六ッ美	社 会	学ぶ喜びをわかち合い、共生のあり方を問う社会科の授業
富田 好己	数 学	数 学	基礎学力を身につけ主体的に学習に取り組む生徒の育成
小澤 弘	河 合	数 学	学ぶ力・確かな学力を育む数学指導
田村 康則	矢 作	数 学	「数学的活動」を重視し、学ぶ楽しさを味わわせる授業
柴田 昌一	葵	理 科	基礎基本を大切に、主体的に追究する生徒を育てる理科学習
山田 義仁	技術・家庭	技術・家庭	郷土を大切にすることを育むものづくり指導
中野 健	矢作北	技 術	人と学び合い、自らの生活を工夫することのできる生徒の育成
岩城 冬子	河 合	英 語	自分の思いを英語で発信する生徒の育成
清水 孝治	矢作北	道 徳	心に響く道徳教育をめざして
山元 嘉与	矢作北	特別活動	個々の気持ちを高め意欲的に活動できる学級活動
伊奈 良見	甲山中	特別活動	学校生活の充実と改善向上を図る生徒活動
岡田 幸夫	六ッ美	特殊教育	人とかかわり始めるために

佳作

鈴木理栄子	梅 園	国 語	志村 光弘	岩 津	総 合
澤田 友和	羽 根	国 語	原田 奈己	大樹寺	総 合
加藤みよ子	井 田	国 語	高山 美保	大樹寺	総 合
堀田 史	矢作南	国 語	神谷 耕一	矢作北	総 合
近藤 秀子	六中部	国 語	柴田 知子	矢西小	総 合
黒木 貴幸	秦 梨	社 会	佐野 恵広	六中部	総 合
青山 美子	常磐南	社 会	小林 由佳	六南部	総 合
三浦 裕昌	大 門	社 会	齊藤 朋子	六西部	総 合
山本 信幸	六南部	社 会	大嶋 由美	矢作東	教育全般
真木 芳衛	六 名	算 数	松下 恵	矢作東	教育全般
赤穂 恵里	広 幡	算 数	加藤 有悟	美 川	社 会
渋谷 昌彦	常 磐	算 数	田中 鉄也	美 川	社 会
稲垣 裕子	岡 崎	理 科	上村 浩	南	社 会
伊藤 聡子	矢作東	理 科	竹平 真仁	葵	社 会
太田 里英	男 川	生 活	林 正彦	美 川	数 学
佐渡 明美	六 名	生 活	加藤 稔	竜 海	数 学
河野 泰世	広 幡	生 活	深津 伸夫	葵	数 学
田中 康恵	矢作西	生 活	高橋 幸太	竜 南	数 学
久村 理枝	城 南	生 活	鈴木 武	矢 作	理 科
石川 洋実	六 西	生 活	内田 正信	竜 海	音 楽
鈴木慎一朗	本 宿	音 楽	鈴木隆太郎	北	音 楽
杉浦あゆみ	矢作東	音 楽	高木 理人	葵	美 術
澤田 友和	羽 根	保健体育	青木 貴之	六ッ美	美 術
清水 隆史	竜美丘	保健体育	都築 秀次	矢作北	美 術
宮村 礼	細 川	保健体育	早川 周宏	六ッ北	美 術
栗田 正明	矢作東	保健体育	市川 陽明	岩 津	保健体育
榎木 哲朗	六南部	保健体育	浅井 貞人	矢 作	保健体育
藤井 博子	男 川	家 庭	太田 勲	六ッ美	保健体育
鷹見 京子	矢作東	家 庭	渡邊 幸枝	新香山	技 術
石川 京子	広 幡	道 徳	新井 邦仁	南	英 語
矢田 雅敏	岩 津	道 徳	沢田 聖子	福 岡	英 語
嘉森 環	六北部	道 徳	神谷 明良	矢 作	特別活動
三上美佐子	矢作東	特別活動	井上 善道	竜 南	特別活動
安藤 仁史	美 合	特別活動	山口 佐文	竜 南	特別活動
石川裕美子	小豆坂	特殊教育	小田 哲也	竜 南	学習情報
河合 泰宏	井 田	学習情報	浅井 圭子	甲 山	図書館
川本 祐二	小豆坂	学習情報	川澄 敏子	甲 山	学校保健
牧野 節子	藤 川	図書館	小川 有理	竜 南	生徒指導
齋藤由美子	愛 宕	学校保健	畔柳 朋典	常 磐	総 合
羽根潤一夫	連 尺	総 合	白井 優司	常 磐	総 合
伊藤 真平	竜 幡	総 合	坂本 雄士	城 北	総 合
山口 泰代	本 宿	総 合	松坂 禎文	矢作北	教育全般

●共同研究の部

最優秀賞

6年生部会 船越 学	六西部	総 合	ふるさとを愛する心を育てる 地域に根ざした総合的な学習
2年生部会 尾崎 智佳	甲 山	特別活動	自らを律し、互いに高め合う生徒の育成

優秀賞

理科部会 田中 芳子	大樹寺	理 科	科学好きな子を育てる理科教育
特殊教育部会 平野 泉	根 石	特殊教育	読書に親しみ生き生きと表現できる子の育成
授業研究部会 城戸 聡子	本 宿	学校保健	自己を正しく見つめ生き生きと歩む子どもの育成
6年生部会 鈴木 悦子	緑 丘	総 合	人とかかわりを通して豊かな人間性を育む子どもを求めて
現職教育研究部 寺島 真澄	矢作南	教育全般	子どもの目が輝く授業の創造
矢北中保健体育部 香川 恵美	矢作北	保健体育	生涯スポーツへの自立をめざしてⅢ
特殊教育部 大楠 峰樹	竜 南	特殊教育	交流の深まりと広がりを求めて
現職教育部 山口 直純	福 岡	総 合	目を輝かせ、自ら進んで活動する生徒の育成

佳作

T P G部会 太田 恭子	矢作東	算 数	環境整備部 奥平 憲	六西部	教育全般
研究推進3年部会 菅沼 秀光	六西部	算 数	現職教育部 高橋 保恵	梅園幼	教育全般
現職教育部 成田 隆行	三 島	総 合	数 学 部 永井 利昌	竜 海	数 学
現職教育部 太田 未也	常磐南	教育全般	理 科 部 西山 秀行	竜 海	理 科
現職教育部 本田 浩登	大樹寺	教育全般	保健体育部 大原 隆司	竜 海	保健体育
1年生部会 佐野 恵広	六中部	教育全般	現職教育研究活動部 森 竜師	城 北	学習情報
現職教育部 安藤 太平	上 地	教育全般	健康教育推進部 主田 修義	美 川	学校保健
研究推進部会 高橋由美子	六西部	教育全般	現職教育部 岩瀬 竜弥	竜 南	教育全般

お知らせ

●教育最新情報

○免許状取得の促進

教育の資質向上や小・中学校の交流の円滑化、小学校の専科指導の充実を目的に、免許状取得の方法が改善されている。

一種免許状の取得努力

昭和六十三年の免許法改正により、その有する免許状が二種免許状である教員について



中学校教諭による小学校での授業（上地小・竜南中）



ては、一種免許状の取得努力義務が課せられた。取得するには、大学や認定講習で単位を取り、在職年数を活かす方法がある。

例えば、大学に三年以上在

受けようとする免許状の種類	有することを必要とする学校の免許状	最低修得単位数		
		教科	教職に関する科目	
			教育課程及び指導法	生徒指導、教育相談及び進路指導等
小学校2種	中学校教諭普通	10	2	
中学校2種	小学校教諭普通	10	2	

学し、九十三単位以上修得した者は、六年の在職年数があれば、十単位で申請ができる。
隣接校種免許状取得の促進
平成十四年教育職員免許法の一部が改正された。

主なものは次の四点

- ①他校種免許状による専科担任制度の拡充
- ②教職経験を有する者の隣接校種免許状の取得の促進
- ③特別免許状の授与の見直し、有効期限の撤廃
- ④免許状の失効及び取り上げに係る措置の強化

例えば②は、前表のように単位数の内訳が設定された。大幅な軽減措置なので、大学の通信教育等で、取得しやすい。

司書教諭の資格取得促進

学校図書館法の改正により（平成九年六月十一日）、平成十五年度より、十二学級以上の学校に司書教諭を置かなければならないことになっている。今後の教育活動においても、司書教諭の果たす役割は大きいので、積極的な資格取得を期待する。

●少年自然の家だより

○バードウォッチングの会

快晴の一月二十六日（日）早朝より、親子七十人が参加して「すぶちバードウォッチングの会」が開催された。

講師の伊藤安彦先生の説明を聞きながら、参加者は図鑑と双眼鏡を手に山の中を歩いた。約二時間程で、ハクセキレイ・カワラヒワ・ヤマガラなど十七種類の野鳥を観察することができた。

昼には、全員が運動場に集まり、所員が前日に採集しておいた春の七草を入れたおかわを味わったりもして、楽しいひとときを過ごした。



熱心に鳥の観察をする参加者たち

○新年度への準備完了 へテントサイト新設

第二キャンプ場をさらに利用しやすくしようと、冬の間に所員の作業で、十六号テントサイトを新設した。太陽の広場にも水場にも近いので、来シーズンの利用が期待される。

へ浴槽の循環能力アップ

自然の家の風呂は、これまでも常に湯を循環させて、気持ちよく利用してもらえようように心掛けてきた。

今後、より一層快適な入浴ができるようにと、一月～二月にかけて浴槽の循環機能を改善する工事を行った。

へ松葉の回収

自然の家の代表的な施設でもある、落ち葉スキー場の松葉の補充も冬の仕事のひとつである。所内はもとより、やすらぎ公園や額田のゴルフ場などへ何回も出向いて、たくさん松葉を回収した。

新しい松葉を敷きつめた上を、歓声をあげながら滑る子供たちの姿が見られる日が待ち遠しい。

●表 彰

◆第四十七回県自作視聴覚教材コンクール

最優秀賞へビデオ部門へ

「岡崎にも海があった」

自作教材制作委員会E班・AVL

優秀賞へビデオ部門へ

「二七市」

自作教材制作委員会B班・AVL

最優秀賞

へマルチメディア教材部門へ

「マルチメディア資料『きょうどにつたわるねがい』」

自作教材制作委員会G班・AVL

優秀賞

へマルチメディア教材部門へ

「マルチメディア資料『Joyful English』」

自作教材制作委員会F班・AVL



読書感想文・感想画コンクール表彰式

◆第三十八回岡崎市小中学校読書感想文・感想画コンクール

市長賞へ読書感想文へ

矢南小三年 橋本 孝文

六西小五年 伊藤 基樹

岩津中三年 市川 久乃

市議会議長賞へ読書感想文へ

六中小二年 藤井 貴信

梅園小五年 石原 梓

六美中三年 足立 瑞樹

岡崎南ライオンズクラブ会長賞

へ読書感想画へ

本宿小一年 末木 豪

緑丘小六年 大本シヨウジ

新香山中一年 伊藤 麻希

◆県読書感想画コンクール

優秀賞

藤川小五年 平岩 紀人

◆第五十四回岡崎市民駅伝競走大会

●男子の部

優勝 北中学校 A

二位 六ツ美中学校 A

三位 竜南中学校 A

四位 東海中学校 A

五位 竜海中学校 A

六位 美川中学校 A

●女子の部

優勝 六ツ美中学校 A

二位 六ツ美中学校 B

三位 竜南中学校 A

四位 東海中学校 A

五位 甲山中学校 A

六位 城北中学校 A

◆第一回全国こども科学映像祭

文部科学大臣賞

「守れカワバタモロコ」

東海中学校生物部

優秀作品賞

「カメくんのコウラと成長」

愛宕小六年 箭田 峻吾

箭田 康治

◆第三十回人権を理解する作品コンクール

最優秀へ標語の部へ

緑丘小五年 大八木利徳

優秀へポスターの部へ

細川小三年 高坂 翔一



第54回岡崎市民駅伝競走大会

●ハートピア岡崎だより

手紙

十二月になって相談室登校を始めた中学二年A子さんが、三学期始業式の日の午後ハートピア岡崎に来た。そして、三人の指導員に手紙を置いていった。そのうちの一通。

○○先生へ

ハートピア岡崎に四か月ぐらい行きました。家に引きこもっているのが前向きなことが考えられなかったです。気持ち暗いと外に出るだけでいやなことがありました。でも、気持ちの落ちようでも未来なんかどうでも変わるといことが分かりました。(中略)知り合いに会うだけでいやだったのが全然平気になりました。

今はまだ教室に行っていないけどそのうちにいきます。今では不登校になってよかったと思っています。いろんな人に会えたり、なによりつらくてしょうがない気持ちも分かったし、

ハートピア岡崎もおもしろかったし。多分もう何があっても大丈夫です。がんばります。いろいろありがとうございます！

まだハートピア生ですが。そして、「今はまだ教室に行っていないけど」の部分の欄外に「行きました」と書き加えられてあった。A子さんは、始業式の日教室に入り、式に参加したのだった。

A子さんは、中学一年の三学期から不登校になった。学校に行きたくても行けない悔しさを、家の壁をたたいて晴らしていた。中学二年の六月の半ば、本所を見学に来たが車から降りられなかった。二学期になって本所に通うことができるようになった。

以後約四か月、この手紙を書くまでに回復した。「まだハートピア生ですが」と気持ちを残しながらも、手紙には学校復帰するんだという意志があふれている。

その後A子さんは、毎日元気に教室登校している。

・カ
ツ
ト
竜美丘小
滋野井 貴子

学校図書館教育 (昭和30年)



戦後間もなく羽根小学校は、学校図書館教育において市の研究指定を受け、昭和三十年にそれまでの研究成果を発表した。写真に見るように図書館を親にも提供して、親と協力して児童の家庭読書に対する関心をも高めた。以後、市内小中学校の図書館整備は着々と進められ、読書指導を中心とした図書館教育に力が注がれた。平成三年には根石小学校が読書指導で、五年には連尺小学校が学校図書館教育で成果をあげ、博報賞を受賞している。今、メディアセンターとしての学校図書館の果たす役割や、管理システム化推進などに大きな期待が寄せられているところである。

大空にツグミが羽ばたく。灰色の空を見上げるとまだ肌寒さを感じるが、長い冬を乗り越えてもうすぐ芽吹こうとしている花も見られる。

新緑と色鮮やかな花に囲まれた春をすぐに身を引き締める。

新学習指導要領の完全実施から一年が過ぎようとしている。様々なキーワードに頭を悩ませた。「生きる力」「確かな学力」……。

流行の言葉に踊らされるのではない、二年目がもうすぐ始まる。子供たちに「本物の力」をつけることを忘れてはならない。

シオ スア

明日への一步を踏み出すために、「一年のあゆみ」をまとめる。教育改革の流れの中で、年表といった輝かしい実績の数々。それは、目の前の子供を大切に、その力を最大限に伸ばしてきたという、岡崎教師の誇りでもある。来年度の更なる躍進を誓う。

巣立ちを機に、子供たちの姿は一段と大きく感じられる。小さなつたランドセルには、心のアルバムに刻まれてきた、ひと・こと・ものとの思い出が、入りきらないほどいっぱい詰まっている。輝く瞳に、歌声に、あいさつに「ありがとう」の気持ちがあふれている。



- * 学力低下を克服する本
陰山 英男・小河 勝
文藝春秋 ￥1333
- * 新しい哲学を語る
梅原 猛・稲盛 和夫
PHP研究所 ￥1300
- * ぶどうの木
坂本 洋子
幻冬舎 ￥1500
- * 嫌われ松子の一生
山田 宗樹
幻冬舎 ￥1600

* リクルートという奇跡 藤原 和博
文藝春秋 ￥1429

リクルート事件、ダイエーグループへの吸収という、二度の大きな変化にも柔軟に対応し、今なお高いブランド価値を保って成長を続けているリクルート社。その秘密を解明してくれている。

例えば、社内が起業家の集団であること。才能のある人しか生き残れないという厳しい現実があるものの、社員が生き生きと働くための動機付けがちゃんと用意されている。

子供たちが通いたい学校、それはきっと職員が生き生きとして、働きがいのある学校であろうことと重なる。